

特集 深掘り！見学プログラム 鳥取が経験した戦争

今から七〇年以上前、日本はアメリカや中国と戦争をして、敗戦したことをご存知ですか。戦争中、鳥取市では大きな空襲はなく、直接的な戦争被害を受けた地域とは言えません。だからといって、当時の鳥取市が戦争と全く関係のない地域だったということではありません。戦争中、多くの若い男性は軍隊に入り兵隊として戦地へ行きました。そして、たくさんの方が戦争で命を落としてしまったのです。また、兵隊として戦地に行かない子どもや女性は、戦争を続け勝利するために、食事を着るものをはじめ生活に関わるさまざまなことを犠牲にした生活をおくることが求められていたのです。

兵隊になるということ

昭和二〇年より以前、日本の国には「徴兵」という制度があり、満二〇歳になるすべての男性は徴兵検査を受けました。

徴兵検査を終った若い男性は軍隊に入り、居住地を管轄する部隊に現役兵として兵役期間（二年間）を過ごすことになります。陸軍は入営、海軍は入団といいました。

「赤紙」は、予備役など現役兵でない男性が軍隊に召集される際の通知のことをいいます。軍隊に入る、彼らはこれまでの生活とはまったく異なる環境へ飛び込むことになりました。軍隊では時間や秩序が徹底され、日々の厳しい訓練のほかに上官からの私的制裁などがあつたといえます。

鳥取市の多くの男性が入営したのが陸軍部隊の歩兵第四十連隊でした。この連隊にはおよそ三〇〇〇名の兵士がいました。この連隊の兵営と練兵場はいまの鳥取市立川町岩倉と鳥取市国府町にかけて広がっていました。兵士たちは練兵場だけでなく鳥取砂丘をはじめとした近隣の演習地で訓練、戦争が激しくなると戦地へ送られ、多くの尊い命が犠牲となりました。

定期的な演習地である砂丘まで行軍しました。足場の悪い砂地での訓練は厳しいものでした。

鳥取砂丘の砂丘センターにある石碑 陸軍の演習地であつたことを伝えてくれます。



鳥取砂丘の砂丘センターにある石碑

歩兵第四十連隊の兵士として日中戦争に従軍した兵士が母へ宛てた手紙（便箋五枚です。最初は、日中戦争における勇ましい戦闘の様子を書いています。徐々に悲壮感に満ちた内容に変わっていきます。

①歩兵第四十連隊兵営における生活の様子（鳥取市歴史博物館蔵） 兵士たちの食事風景。兵士たちの寝起きする空間です。机の背後には寝台があり、壁には銃がたてかけられています。



歩兵第四十連隊兵営における生活の様子（鳥取市歴史博物館蔵）

②鳥取砂丘で訓練する歩兵第四十連隊の兵士たち（鳥取市歴史博物館蔵） 兵士たちは定期的に演習地である砂丘まで行軍しました。



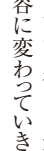
鳥取砂丘で訓練する歩兵第四十連隊の兵士たち（鳥取市歴史博物館蔵）

③鳥取砂丘の砂丘センターにある石碑 陸軍の演習地であつたことを伝えてくれます。



鳥取砂丘の砂丘センターにある石碑

④母へ宛てた軍事郵便（鳥取市歴史博物館蔵） 歩兵第四十連隊の兵士として日中戦争に従軍した兵士が母へ宛てた手紙（便箋五枚です。最初は、日中戦争における勇ましい戦闘の様子を書いています。徐々に悲壮感に満ちた内容に変わっていきます。



母へ宛てた軍事郵便（鳥取市歴史博物館蔵）

⑦代用品（鳥取市歴史博物館蔵） 戦時中に使用された陶製のポタレンです。資源の乏しい日本は、軍事物資の資源不足を補うため、さまざまな金属を軍事物資に転用しました。鉄、銅、青銅製品などの金属製品を回収し、溶かして武器などの材料にしました。小学校の二宮金次郎像、各家庭で日常的に使用していた鍋や釜、制服の金ボタンまでも回収の対象となったのです。それまで金属を使用していたものは、焼き物である陶器でつくられました。

遺されたモノから 戦時中の生活を考える



遺されたモノから 戦時中の生活を考える

昭和十九年二月日に発行された鳥取市報です。表紙には、「決戦生

活訓」と題され、生活の際に注意する五つの項目が大きく記されています。戦時中は、戦争に全てを費やす国の政策のもと、直接戦争に行かない人にも戦争協力が強制されていたのです。

⑥戦争柄お宮参着（鳥取市歴史博物館蔵） 兵隊戦争、戦闘機などが描かれた男児のお宮参り着です。お宮参りは、生後一カ月を迎える赤ちゃんを連れ、氏神で健やかな健康を祈願することです。このお宮参着は、男の赤ちゃんをくるむ際に使用したものです。戦闘機や大砲などの戦争柄が描かれたお宮参着はたくさんつくられ、戦争の大衆化が進んでいたことを教えてくれます。

千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温



千人針の画像

（児童の感想）

◎和紙に使う原料をハンマーでたたきました。始めて数分後に「つかれた、もう無理だ」と思いました。和紙を作っている人はこれを毎日がんばっているんだと思いました。

◎ばくは和紙を作るのが初めてなので、できないと思っていたら、保存会の方に「上手」と言われました。とても楽しかったから、また家族と行きたいです。

初めてみんなで乗る大型バス、初めて知る青谷の魅力、素晴らしい経験と思いができました。地元の子どもたちにもふさと青谷の魅力を知りたいという思いで協力してくださった方々のおかげです。子どもたちもその思いにに応えようと、しおりいっぱいメモを取り、時間が足りなくなるほど質問をし、挨拶やお礼をしっかりと伝えていました。青谷で素敵なところだなあと改めて思いました。ふさと青谷の魅力を知った子どもたちは、学んだことをまとめたい、いろいろな人に伝えたいと考えているようです。今後ともふさとに思いを寄せ、より大切に思えるよう学習を深めていきたいと思います。

館長の森さんの案内のもと、青谷上寺地遺跡について学習しました。弥生時代の遺物がたくさん展示してあり、昔の貴重なものが大切に保存されていることに驚きました。「弥生人の脳」の展示を見たときは歓声が上がり、「世界的な大発見が青谷上寺地遺跡であつたんだ！」と大喜びでした。

あおや郷土館では鳴り砂の展示で、青谷の海について学習をしました。

あおや郷土館では鳴り砂の展示で、青谷の海について学習をしました。

あおや郷土館では鳴り砂の展示で、青谷の海について学習をしました。

あおや郷土館では鳴り砂の展示で、青谷の海について学習をしました。

あおや郷土館では鳴り砂の展示で、青谷の海について学習をしました。

⑧空襲予告シラ（鳥取市歴史博物館蔵） 昭和二〇年（一九四五）八月五日、アメリカ軍の爆撃機B29から鳥取市付近に撒かれたシラ。広島への原爆投下の前日のことでした。このシラは鳥取市本町で拾ったものです。十二の都市に対しての爆撃予告ですが、その半数は予告通り空襲を受けています。鳥取市と姉妹都市を提携している岩国市は壊滅的な被害を受けています（昭和二〇年八月十四日）。戦争がもう少し長引いていれば、鳥取も空襲を受けたのかもしれないです。

⑨千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

⑩国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

⑪勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

⑫二宮金次郎像供出（鳥取市歴史博物館蔵） 昭和十六年（一九四一）秋、鳥取市稲葉国民学校の二宮金次郎像が供出される前に撮影された写真。写真のメモには「二宮翁銅像忠告」とあります。「忠告」とは、在郷軍人や補充兵役にある者が軍隊に入ることを言いますが、この銅像が供出されることを「忠告」と表現しているのは、この銅像が武器などに転用されることから、そのように表現したのでしょう。

⑬平和のなかで戦争を考える 鳥取市歴史博物館学芸員 横山 展宏

皆さんが生活するなかで、戦争について考える時間は決して多くないと思います。そして、戦争体験者が少なくなり、当時のことを語ることもできる人がいなくなっているのも事実です。世界を見てみると、現在、ロシアとウクライナが戦争をしていたり、世界のいろいろなところで戦争が起きていて、尊い命が犠牲となっています。かつて、日本が経験した戦争でも、市民をはじめとした多くの人が、陸海軍の兵士として満

水と川の学習にー因幡万葉歴史館

江山学園の四年生が博学連携のバスを利用して因幡万葉歴史館を訪れました。

子どもたちは、水と人々の暮らしについて学習していて、この日も鳥取市水道局と江山浄水場で農業用水や飲み水がどのように供給されているかを見学してきました。万葉歴史館では、「曲水の宴」を体験し、水に関わる万葉歌を学習します。万葉歴史館の「万葉と神話の庭」には、遺水という浅い人工の川が流れていて、古代の貴族たちが楽しんだ「曲水の宴」を再現することができます。お酒の入った盃を川上から流し、流れ着くまでに和歌を詠んだ人がお酒を飲めるという優雅な遊びです。この日は、色紙に短歌の上の句を書くく、お盆に乘せて流す人、受け取って下の句を書く人の連携プレーによってひとつの歌を完成させるというルールで行いました。実際にやってみると、色紙を乗せたお盆が、竹竿で押してもなかなか進まなかったり、ひっくり返ったり。歌をつくるというより、お盆を流すことで

盛り上がり、子どもたちはとても楽しそうでした。和歌の解説では、「多摩川にさらす手づくりさらさらになんぞこの児のこた愛しき」という中学三年の国語の教科書に載っている歌を紹介しました。小学校四年生には少し難しいかもしれませんが、川で布を晒している女性たちの様子を思い浮かべ、当時の生活に川が重要な働きをしていることを感じたようです。

曲水の宴と万葉集の歌を通して、昔から水は身近なものであることを学ぶことができたのではないのでしょうか。江山学園は設立3年目の義務教育学校で、小中一貫特別の教科等「江山かがやき科」では他校の総合的な学習より時間を多くとり、PBL（プロジェクト型学習）の手法を取り入れ、子どもたちが自ら問題を解決していく学習に取り組んでいます。

今回の見学では、テーマに沿って学校と歴史館が一緒にプログラムを組みました。見開きページの見学プログラム以外でも可能な限り柔軟に対応しますので、ご相談ください。高砂屋では登録文化財の建物の中で、物のお当。好評でした。

（協力）江山学園、文責／博学連携推進プロジェクト

ボランティアガイドさんが万葉衣装を着て登場

（協力）江山学園、文責／博学連携推進プロジェクト

めて胃腸を守り、敵弾を受けたときの止血帯としても利用されました。どんな思いで、一針ずつ縫ったのでしょうか。

⑬平和のなかで戦争を考える 鳥取市歴史博物館学芸員 横山 展宏

皆さんが生活するなかで、戦争について考える時間は決して多くないと思います。そして、戦争体験者が少なくなり、当時のことを語ることもできる人がいなくなっているのも事実です。世界を見てみると、現在、ロシアとウクライナが戦争をしていたり、世界のいろいろなところで戦争が起きていて、尊い命が犠牲となっています。かつて、日本が経験した戦争でも、市民をはじめとした多くの人が、陸海軍の兵士として満

⑭国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

⑮勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

⑯千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

⑰国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

⑱勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

⑲千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

⑳国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

㉑勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

㉒千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

㉓国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

㉔勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

㉕千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

㉖国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

㉗勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

㉘千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

るほか、児童は勤労奉仕を行ないました。勤労奉仕は、清掃や農作業などをはじめ、さまざまな活動がありまし。戦争の進展とともに、授業は少なくなる一方、勤労奉仕は増えていきました。

⑭国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

⑮勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

⑯千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

⑰国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

⑱勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

⑲千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

㉑国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

㉒勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

㉓千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

㉔国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

㉕勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

㉖千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

㉗国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

㉘勤労奉仕（鳥取市歴史博物館蔵） 鳥取市久松国民学校の児童による勤労奉仕（チガヤ採取の様子。戦時中、各科目の授業を受け

㉙千人針（鳥取市歴史博物館蔵） 千人針は、出征兵士が無事に帰還してほしいという願いから戦地での弾除けとして、千人の男女に依頼して白木綿の生地に赤糸で二針ずつ縫止めていったものです。日中戦争期に全国的に広がり、婦人団体が積極的に実施、街頭や駅前で縫い付ける姿がみられました。おなかに巻き付けた千人針は、温

㉚国民学校（鳥取市歴史博物館蔵） 写真：鳥取市稲葉国民学校（現鳥取市立稲葉山小学校です。昭和十六年（一九四一）三月に公布された国民学校令により、それまでの小学校はすべて国民学校と改称されました。当時の授業は四科で構成されていました。国民科（修身・国語・国史・地理）、理科（算数・理科）、体操（武道）、芸能科（音楽・習字・図画・工作）、実業科（農業・工業・商業・水産）

- ★学芸員、スタッフ、ボランティアガイドがご案内します。
- ★学校利用の場合、引率者を含め入館料は無料です。
- ★見学プログラムを希望される場合は、必ず事前に各施設にご連絡下さい。
- ★実施時期によっては、ご希望に沿えないこともありますので予めご了承下さい。
- ★①～⑩以外のテーマについても可能な限り対応させていただきます。各施設にお尋ね下さい。
- ★昼食の場所についてもご相談下さい。(人数制限あり)

鳥取市歴史博物館 やまびこ館

お弁当可

写真やスライド、実物資料などを使ったミニ授業や展示解説、野外学習、オリエンタリングといった博物館内外で鳥取市の歴史を学習できるプログラムを用意しています。ミニ授業と展示解説を両方行うなど、各プログラムを組み合わせるの実施も可能です。下記プログラム以外の内容や学習課題に合わせた対応も大歓迎です。ぜひお気軽にご相談ください。

プログラムの例

- (1) ①ミニ授業(30分) + ⑦展示見学(30分) ……60分コース
- (2) ⑥野外見学(45分) + ⑨クイズラリー(45分) ……90分コース

ミニ授業 ～資料から鳥取の歴史を学ぼう！～

- 場所** まなびのひろば
時間 30分程度(短縮・延長可)
内容 実物の資料や写真などを通じて鳥取の歴史を学べる、学芸員の特別授業です。



ミニ授業「昔の暮らしと道具」

- 鳥取のお殿さまと鳥取城、城下町**
江戸時代の鳥取、特に殿さまやお城、城下町に関する内容です。
キーワード 池田家、城下町、鳥取城、宮部継潤、亀井茲矩 etc
- 戦国時代の鳥取(天正9年鳥取城攻め)**
戦国時代の鳥取、特に鳥取城攻めや吉川経家に関する内容です。
キーワード 戦国時代の鳥取、山名氏、吉川経家、天正9年の鳥取城攻め etc
- 昔の暮らしと道具**
先史から近代までの暮らしと道具に関する内容です。
キーワード 農具、冷蔵庫、洗濯、料理 etc
- 鳥取と災害**
鳥取の経験した災害について知る内容です。
キーワード 地震、水害、火災 etc
- 鳥取が経験した戦争**
戦争と鳥取との関わりについて学ぶ内容です。
キーワード 四十連隊、戦争遺跡 etc
 ※これ以外の内容もご相談に応じます。

ミニ散策 ～博物館の外へ飛び出そう！～

- 場所** 榑谿公園、鳥取東照宮
時間 45分～(短縮・延長可)
内容 公園と神社の歴史を知る、博物館外での学習プログラムです。



榑谿公園散策の様子

⑥ 榑谿公園と鳥取東照宮を歩こう

キーワード 東照宮、榑谿公園、池田光仲、屋形船、標準木 etc

博物館見学 ～探検やまびこ館！～

- 場所** 常設展示室、特別展示室
時間 30分～1時間(短縮・延長可)
内容 常設展示や特別展示の内容を見学し、鳥取の歴史について学びます。授業の進捗状況に合わせた対応も可能です。



常設展示解説の様子

- 常設展示見学コース**
鳥取市の歴史を先史時代から現代まで、通史的に学べます。
- 企画展示見学コース**
期間限定の展示を通じて、鳥取の歴史を学べます。各展示については、年間行事予定表などをご参照ください。
- クイズラリー**
展示を見学しながら、クイズに答え、鳥取の歴史を学んでいきます。
- バックヤード見学コース**
普段見ることの出来ないバックヤードなどをめぐり、博物館の役割について学びます。

鳥取市因幡万葉歴史館

お弁当可

⑪ 因幡国府の歴史・文化をさぐる

- 場所** 鳥取市因幡万葉歴史館 **時間** 1時間程度
内容 因幡国府で花ひらいた古代の文化や貴重な遺跡、麒麟獅子舞や因幡の傘踊りなど民俗文化の解説をします。



因幡の古代展示室



麒麟獅子頭(複製)

⑫ 万葉と神話の庭で万葉集をみつけよう！

- 場所** 鳥取市因幡万葉歴史館(万葉と神話の庭)
時間 30分～1時間
内容 万葉集に詠われた約40種類の植物が彩る回遊式庭園で、古代の人々が自然にこころを寄せて詠った歌を見つけ、万葉集の世界を体感します。



万葉と神話の庭

仁風閣

⑬ 明治の洋館と鳥取の近代化

- 場所** 仁風閣～宝隆院庭園 **時間** 30分～1時間
内容 国重要文化財に指定された明治の洋風建築「仁風閣」と、江戸時代の大名庭園の名残を留める「宝隆院庭園」の見どころを解説します。仁風閣は、電灯や電話が鳥取県で最初に設置されるなど、当時の高度な技術が随所に見られる鳥取の近代化の象徴的な建物です。



国指定重要文化財「仁風閣」と「宝隆院庭園」

⑭ 明治の洋館と鳥取藩主池田家一族の歴史

- 場所** 仁風閣～史跡鳥取藩主池田家墓所 **時間** 1時間～3時間
内容 仁風閣は、明治40年、皇太子(後の大正天皇)が鳥取を訪れたときに、旧藩主池田家が宿泊所として提供したものです。そのなりたちをひもとき、藩主池田家一族の歴史をふりかえります。
 ※仁風閣は建物の大型修理のため、令和5年12月下旬で全館閉館の予定です。

高砂屋

お弁当可

⑮ 明治時代の商家の建物

- 場所** 城下町とっとり交流館 高砂屋
時間 30分～1時間
内容 明治時代の商家の建物と蔵を見学して、建物のつくりと当時の鳥取の城下町の様子について学ぶことができます。



登録文化財の建物でお弁当

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

⑯ 体験、体感、弥生人！

- 場所** 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
時間 見学30分～・体験30分～
内容 青谷上寺地遺跡から出土した貴重な品々を見学して、弥生時代について学びます。ものづくり体験も可能です。
 ※体験参加人数によっては、受け入れ時期、体験場所の調整が必要になります。お早目にご相談下さい。
 ※土笛づくり・ミニ土器づくりは乾燥に数日かかります。



展示室「青谷上寺地の衣・食・住」

- 鑄造体験(鏡・お金)(90分) 800円
- 土笛づくり(90分) …… 350円
- ミニ土器づくり(90分) 300円
- 麻ひもコースターづくり(90分) …… 300円
- かごづくり(150分) …… 350円
- 組紐づくり(30分) …… 100円
- 滑石勾玉づくり(90分) 400円

※所用時間は目安です。

バス利用を支援します

～博物館★MUSEUMをめぐる事業～

財団施設までの移動手段として、バスを借り上げて学校に貸し出します。



- ①バス貸借費用を1校につき**上限50,000円**、2台以上の場合および2校以上合同の場合は、**上限100,000円**まで補助します。上限を超過した経費については各校で負担していただきます。
- ②利用に際しては、2つ以上の財団施設の見学プログラムを指定して下さい。
- ③同日に財団施設以外の社会見学を組み込むことも可能です。スケジュール調整は、各校で行って下さい。

【利用の流れ】

- ①鳥取市因幡万葉歴史館・博学担当(0857-26-1780)にご希望のプログラムと日時をお知らせ下さい。
- ②行程が決まりましたら、所定の書式に記入して4週間前までにFAX(0857-26-1781)して下さい。
 ※行程の書式は鳥取市文化財団博学連携推進プロジェクトのホームページからダウンロードして下さい。<https://www.tbz.jp/project>
- ③鳥取市文化財団がバスを手配してお知らせします。規定額を超えた場合は請求させていただきます。

鳥取市あおや和紙工房

お弁当可

⑰ 和紙の里でつくる、世界にひとつだけの和紙

- 場所** 鳥取市あおや和紙工房
時間 1時間
内容 伝統工芸品である因州和紙について技術、歴史などを学ぶことができます。さらに、自分でデザインした手すき和紙づくりを体験することもできます。
 ※一度に制作体験できる人数は20名程度です。それ以上の人数であれば交代で制作することがあるため、青谷町内の他の施設見学と合わせて利用することをお勧めします。



紙すき体験

- A3 1枚 …… 500円(20名以上400円)
- A4 1枚 …… 400円(20名以上320円)
- ハガキ1枚 …… 300円(20名以上240円)
- A3 スタンドランプづくり…2,000円(20名以上1,900円)
- A4 ミニランプ(LED) …… 1,000円(20名以上920円)



紙すきランプシェード

鳥取市あおや郷土館

⑱ 山陰海岸ジオパーク 鳴り砂の浜と夏泊の海女漁

- 場所** 鳥取市あおや郷土館、青谷海岸、夏泊神社等
時間 1時間～2時間(あおや郷土館常設展示のみは30分程度)
内容 山陰海岸ジオパークの構成要素である青谷町の「鳴り砂の浜」や今は無き「夏泊の海女漁」の歴史について、鳥取市あおや郷土館の常設展示や現地で学べます。天候が良ければ、青谷海岸を歩いて鳴り砂の音を聞いたり、夏泊の獅子岩などの奇岩を見たりすることができます。また、近くの夏泊神社には青谷出身で江戸時代の石工・川六(かわろく)作の狛犬や鳥居を見ることができます。



あおや郷土館ジオパークコーナー



夏泊の獅子岩